

# 京機会ニュース

No. 9 平成 13 年(2001 年) 10 月 9 日

## 京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、 E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>

中部支部



中国・四国支部

支部設立総会の風景

### 目 次

平成 13 年度京機会秋季大会 ご案内	2 頁	中国・四国支部設立総会の報告	8 頁
今年度の京機会運営について	3	関西支部の報告とお知らせ	9
平成 13 年度京機会評議員会・春季大会・総会の報告	4	関東支部総会・新年会のお知らせ	11
平成 13 年度京機会役員名簿	5	支部・地区京機会の設立を!	11
平成 13 年度京機会評議員名簿	5	教官の異動	11
第二世紀事業「リカト教育」の報告とお知らせ	7	会員のページ	12
中部支部設立総会の報告	7		

編集担当 (北村隆行、中部主敬、田中和人、段智子)

## 平成13年度京機会秋季大会開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：平成13年11月9日（金）15:00より

会 場：秋季大会：キャンパスプラザ京都（京都中央郵便局西側、京都駅より徒歩1分）  
京都市下京区西洞院塩小路下る TEL:075-353-9100  
<http://www.consortium.or.jp/center/about/index1.html>

見学会：京都駅ビルのビル管理システムの見学

懇親会：ホテルグランビア京都3F 源氏の間  
京都市下京区烏丸通塩小路下る TEL:075-344-8888

秋季大会：（15:00～18:00 キャンパスプラザ京都4F 第2講義室）

1. 開会挨拶（15:00～15:30）
2. 技術講演会および質疑（15:30～16:45）  
「鉄道的高速化に伴う鉄道車両の空力特性と課題について」  
西日本旅客鉄道株式会社 神戸支社安全対策室室長代理  
工学博士 眞下伸也（S61年卒）
3. 京都駅ビルのご紹介（16:45～17:00）
4. 京都駅ビルの見学（17:00～18:00）
5. 閉会

懇親会：（18:30～20:00 ホテルグランビア京都3F 源氏の間）

会費：8,000円（当日、同会場でお支払い下さい）

その他：

当日、13:00よりリカレント教育講座を総会々場のキャンパスプラザ京都で開催いたします。  
詳細は7ページをご覧ください。

また、希望される方は当日の午後からJR西日本の「梅小路蒸気機関車館」を無料で見学することができます。「梅小路蒸気機関車館」は京都駅から市バスで「梅小路公園前」下車すぐ。（約10分）  
または、JR嵯峨野線丹波口駅から徒歩15分です。「梅小路蒸気機関車館」入り口で担当者に「京機会会員」である旨をお知らせ下さい。

準備の都合上、10月30日（火）迄に同封のはがきにて出欠のご返事をお願いします。



春季大会懇親会の風景



## 今年度の京機会運営について

会長 永井 将



京都大学機械系工学会(京機会)は、母校創立100周年の平成9年秋、会則を改正し新体制を発足させ、21世紀元年の今年、本会の第2世紀2年目を迎えました。本年度は、この伝統ある京機会が新世紀も磐石な発展を遂げるよう新体制の基盤を構築することを運営方針にしたいと考えております。

さて、京機会の現状を考えてみますと、一つは、新体制発足以降京機会ニュースを発行し、平成10年から会費納入をお願い致しまして満3年が経過しました。そして、昨年は3年に一度の会員名簿を発行しまして、活動が一巡したことであります。

次に、新体制のもう一つの目玉であります支部創設も、関西支部・関東支部に続き、今年度は中部支部、中国・四国支部が設立され、主な支部が出そろったことであります。

三つ目は、会費の納入率でございますが、10年度・11年度会費が38%台に達したものの、過半数には達しませんで、12年度・13年度会費は34%・26%に止まっております。即ち、現時点は種々の意味で過度期にあると思われれます。

そこで、今年度の課題と致しましては、

(1) まず財政でございますが、過去3年間の会計実績から会費・広告等の収入動向を把握すると共に、諸活動の経常支出を算出致しまして、収入と活動のバランスの取れた健全財政体制を構築することです。ここで、会費納入率ですが、上述の様に、12年度・13年度会費の納入率は伸び悩みの状態です。その動向・要因を把握・検討いたしまして、過半数以上を目標に向上を図る必要があります。

(2) 次に支部につきましては、四つの支部は設立できましたが、支部は地域集会活動を基本としますので、これら支部の集会活動のあり方を定め、かつ4支部以外の地域へも対応する必要があります。

(3) 三つ目に本部の組織・運営でございますが、本部は、春季・秋季大会の開催と会員名簿・京機会ニュースの発行に加え、支部への支援活動を強化する必要があります。そのためにも

組織・体制を強化する必要があります。本年の総会での会則改正と役員増強はその一環ですが、さらに、評議員のご協力が必要であります。評議員は会則で卒業年度別幹事と位置づけられておりますので、卒業年度別同窓会との連携を密に致しまして、会員名簿の精度向上や会費納入率の向上、地域活動活性化へのご協力をお願いしたいと考えております。

また、以上の他に京機会ニュース、会員名簿、大会等諸会合などルーティン活動の充実・コスト削減、会費納入・会計事務を始め諸事務の省力化と、そのための内規やデータベースの整備を図る必要があります。

(4) 最後に新しい活動の企画・導入であります。その一つとして、IT時代に相応しい京機会情報ネットワークの構築が考えられます。それは第二世紀記念事業で取り上げられておりますので、その構築を推進する必要があります。

今年度は、これらの問題に取り組んでいきたいと考えており、本紙にはその一部の記事が紹介されております。京機会活動の理念は、本会の会則にあります「機械系工学に関する研究の発展を図り、更に会員相互の親睦を図る」という目的を達成することです。言い換えますと、会員の心の触れ合える親睦の場を提供することです。また、会員にとって役に立つ情報交換の場を提供し、更に人的ネットワークの拡大を支援する事であろうと認識しております。

幸いにも、主要4支部の設立に加え、本部の運営体制も整いましたので、微力ながら役員ともども、京機会の更なる発展に尽力したいと存じます。皆様方の絶大なご支援・ご協力をお願い申し上げます。



関西支部産学交流会の風景  
(講師 矢部先生)



学生と先輩の交流会の風景



## 平成13年度京機会評議員会・春季大会・総会の報告

### 1. 評議員会

平成13年4月14日に評議員会が19名の出席で開催された。昨年度の活動報告がなされ、会費納入率の向上策が討議された。また、評議員として各学年のクラス会を運営されているメンバーに就任していただくことによって評議員会が充実し、京機会の発展につながるとの提案がなされた。今年は、各学年、各支部ごとの評議員を充実していくことになった。

### 2. 学生と先輩の交流会

昨年に引き続き、社会で活躍する機械系工学の先輩から在学生がさまざまな情報を得る機会として標記の会を企画・開催しました。59社(含む国家公務員)から卒業生に来ていただき、在学生も2年生から修士の学生まで300名以上が参加し、熱気に溢れた意欲的な交流会でした。

### 3. 講演会

#### (1) 「私の流体工学研究」小森 悟氏 (S49年卒)

演者の研究歴を紹介しながら、演者が環境中での乱流輸送現象に関する研究に取り組むに至った経緯について述べるとともに、最近の地球温暖化問題において重要となる大気・海洋間での二酸化炭素および熱の交換機構に関する流体工学的研究の一例を紹介した。その内容は、大気・海洋間の物質および熱の交換量評価の不確定性を示唆するとともに、この方面の最近の研究は温暖化予測に関する数値計算手法の確立のみに主眼を置いているが、物質および熱の交換機構を正確に表現することのできる信頼性の高い物理的モデルを流体工学的な立場から構築することが重要であることを指摘するものであった。さらに、このような流体工学的研究を発展させるためには、プライドだけが無く数値計算や理論にのみ興味を示すような学生ではなくハードな実験に手を汚しながら自分の目で現象を捉えることができるガッツと積極性をもつ学生を研究室で育てることが欠かせないとして講演を締め括った。

#### (2) 「改正された技術士資格と工業教育」

佐藤 国仁氏 (S48修卒)

昨年、技術士法が改正され、技術士=プロフェッショナルエンジニア(PE)として、その資格の位置づけが明確化した。これと平行して、技術士制度と日本技術者教育認定機構(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)を絡めたエンジニアリング教育体系が指向されている。このような技術者資格の現状、ならびに将来展望について、技術士資格の国際的な整合化の動き、技術士認定に関する大学・学協会との連携強化、技術者倫理を含む職業規範、技術士としての継続教育等多角的な面からの解説がなされた。

### 4. 平成13年度総会

講演会に引き続き、同会場で平成13年度京機会総会が開催され、右記の件を報告、承認された。なお、総会参加者は199人+学生45人であった。

#### (1) 平成12年度会計報告の件

塩路幹事(S50卒)から会計報告、植木監事(H元卒)からの監査報告があり承認された。なお、平成12年度収支決算書は別紙に掲載。

#### (2) 役員改選の件

平成13年度の役員として、

【会長】 永井 将 (S31卒)

【副会長】 関西支部 福森 康文 (S32卒)

関東支部 小澤 三敏 (S33卒)

中部支部 松本 和男 (S41卒)

中国・四国支部 川口 東白 (S34卒)

大学 大谷 隆一 (S37卒)

を選出した。なお、監事・常任幹事・大学側幹事・評議員は5、6ページに掲載。

#### (3) 関東支部報告

#### (4) 中部支部設立の件

設立が承認された。設立総会の詳細は7ページに掲載。

#### (5) 中国・四国支部設立の件

設立が承認された。設立総会の詳細は8ページに掲載。

#### (6) 二世紀記念事業の件

駒井実行委員長(S38卒)より記念誌発行等の第二世紀記念事業が順調に行われていることが報告された。

### 5. 関西支部総会

関西支部総会が開催され、支部活動などの報告があった。

9、10ページに詳しく紹介する。

### 6. 史上最大の懇親会

今年の懇親会は200余名の参加で盛大なものでした。そのうち学生が43名、入社10年未満の若い卒業生が数十名で、活気にあふれたものでした。女子院生2名による乾杯で、初めから盛り上がりました。昨年までは、参加人数が100名未満で若い人が少なく憂慮されていました。これは、会場を吉田の生協食堂にし、低会費、学生と先輩の(リクルート)交流会とのドッキングの成果であり、来年度もこの様子を継続することになりました。



講演会の風景

## 平成 13 年度京機会役員名簿

- 【会長】永井 将 (S31 卒、日立造船(株) 顧問)
- 【副会長】
- 関西支部 福森 康文 (S32 卒、大阪ガス (株) 社友)
- 関東支部 小澤 三敏 (S33 卒、住友重機械工業(株)会長)
- 中部支部 松本 和男 (S41 卒、(株)デンソー 常務取締役)
- 中国・四国支部 川口 東白 (S34 卒、宇部興産 (株) 顧問)
- 大学 大谷 隆一 (S37 卒、機械物理学専攻教授)
- 【監事】
- 矢部 寛 (S35 卒、大阪電気通信大学工学部  
知能機械工学科教授)
- 森川 龍一 (S25 卒、森川テクノ・マネジ 代表)
- 植木 努 (H 元卒、コーワ総合会計事務所 代表)
- 【代表幹事】
- 藤本 孝 (S39 卒、機械物理学専攻教授)
- 【常任幹事】
- 会長指名幹事  
坂戸 瑞根 (S32 卒、神鋼テクノ (株) 顧問役)
- 支部代表幹事  
関西：坂口 保彦 (S54 卒、西日本旅客鉄道 (株))
- 関東：熊澤 正博 (S43 卒、(株)日立製作所)
- 中部：伊勢 清貴 (S53 卒、トヨタ自動車(株))
- 中国・四国：浜野 清士  
(S40 卒、中国ジェイアールバス (株) 代表取締役社長)
- 大学側幹事  
支部 (関西除) 担当：  
松久 寛 (S45 卒、精密工学専攻教授)
- 関西支部担当：  
牧野 俊郎 (S47 卒、機械物理学専攻教授)
- 名簿担当：  
熊本 博光 (S44 卒、情報学研究科/IT科学専攻教授)
- 広報 (ニュース) 担当：  
北村 隆行 (S52 卒、機械物理学専攻教授)
- 広報 (HP) 担当：  
小寺 秀俊 (S55 卒、機械工学専攻教授)
- 会計担当：  
塩路 昌宏 (S50 卒、工科院-科学研究科  
工科院-変換科学専攻教授)

## 平成 13 年度京機会評議員名簿

H13.9 現在

卒年	代表評議員 [( )以外は関西]	支部評議員			
		関西	関東	中部	中国・四国(その他)
S 2 0	谷口 浩				
S 2 1	大矢根守哉	鬼頭 勇			坪井 正
S 2 2	岸本 雅夫	岸本 雅夫			
S 2 3	尾谷 博敏	尾谷 博敏	京谷 好泰		遠藤 浩司
S 2 4	(調整中)				
S 2 5	森川 龍一	森川 龍一	真部 広隆		渡辺 忠淳
S 2 6	吉川 和彌	岡田 守夫	加藤 孝之		
S 2 7	鈴木 正直	山本 巖	小林富美彌	濱島 辰雄	
S28旧	乾 宰人	乾 宰人	高橋 尚郎		寺谷 忠郎
S 2 8	西田 弘	西田 弘	西岡 良三		松田 安正
S 2 9	久光 脩文	久光 脩文	江崎融利亜		
S 3 0	亀山 邦夫	赤松 秀一	石田 周二	大友 満	撰 親
S 3 1	橋本 昌	東 良学	戸田 凱夫	山本 新市	和中 宏樹
S 3 2	坂戸 瑞根	河本 恭爾	木村 達也	赤松 利章	
S 3 3	野田 忠吉	蛭川 昌	梅本 毅	岸本 秀弘	藤田 宏
S 3 4	木谷 彰宏	大泉 治朗	三浦登志男	大鹿 澄男	川口 東白
S 3 5	松木 健次	矢部 寛	太田 脩二	初井 英夫	京極 哲朗(九州)
S 3 6	四方 光夫	四方 光夫	宮下 直也, 山本 明	井上 憲太	佐藤 義政
S 3 7	伊藤 俊太郎	吉岡 肇 三木 好信	小野 孝之 浅田 昭	毛戸 節男 大岩 忠明	琵琶 忠志 上出 拓郎
S 3 8	中川 哲(中部)	安江 彰治	善本 毅	野呂 周平	高橋 正
S 3 9	垣野 義昭	澤田 邦昭, 岸田 尚			藤田 茂文
S 4 0	島 進	濱野 清士	柳井 誠, 北川 正樹	荒川 義光	鷺尾 誠一
S 4 1	久保 愛三	古池 治孝	豊田 洋民, 中垣 邦弘	松本 和男	石原 信勝

S 4 2	藤川 卓爾(関東)	堀家 弘	平尾 隆, 西野征規男	加藤 由人 伊藤 和彦	下津 正輝 有光 秀雄(海外)
S 4 3	小島 達雄(中国)	山中 猛, 林 完爾 平田 誠計, 大西 良弘	熊沢 正博, 芳村 泰嗣	滝本 正民	宇野 義幸 江藤 孝治 藤田 卓一
S 4 4	並木 宏徳	神田 剛	二井内親兵衛	野口 満之	石川 丕行
S 4 5	田保 栄三	各務 嘉郎	坂口 喜好	田附 尚	薦田 哲男
S 4 6	三津田恒夫	千田 衛, 後藤 久夫	松宮 徹	鈴木 昌彦	山本 博孝
S 4 7	秋山 雅義	小澤 豊, 布施 守雄	広瀬 勇次	太田 誠一	新川登茂宣
S 4 8	佐々木美樹(関東)	成宮 明, 安盛 善	増本 雄治	野口 好一	檀浦 貞行 吉里 勉
S 4 9	閑納 真一(関東)	日下部博昭, 市場 良行	吉田 史郎		山崎 雅之
S 5 0	山西健一郎	盛林 茂夫, 石川 聡	長田 守弘	下村 豊	溝淵 俊寛
S 5 1	杉江 俊治	中筋 和行, 深野 明 本城 正朗	岩波 正	棚橋 晴彦	小松 富夫
S 5 2	星出 敏彦	尾上 正剛, 小島 敬良	藤山 一成	佐々木一衛	生田 耕治
S 5 3	石山 拓二	北川 聡一, 竹之内壯太郎	川口 靖夫	木村 忠司	小田 祐司
S 5 4	坂口 保彦	尾崎 永一	大崎 安史	伴 鋼造	富田 栄二 藤井 慎吾
S 5 5	小寺 秀俊	奥田 寛, 姫田 篤	松浦 清	敷田 卓祐	宮地 豊(東北)
S 5 6	樫木 哲夫	岡田 俊治, 竹内 芳裕	羽田 英夫		
S 5 7	上井 圭一郎	三宅 俊也			
S 5 8	永瀬 豊	池内 清晃, 西村 高明	疋田 理	山下 和彦	林 知得
S 5 9	横小路 泰義	長岡 壯壽, 浜本 成久 有川 泰史	田中 正樹	平 弘二 押川 祐士	
S 6 0	新井 聡	洲崎 章弘, 鈴木 洋	村上 弘記		
S 6 1	蓮尾 昌裕	栗村 隆之, 二股 一郎	粉川 良平	大塚 康司	後藤 知伸
S 6 2	川上 浩司	篠原健治郎	小川兼一郎	小関 智史	田端 伸章
S 6 3	玉川 雅章	加賀 邦彦	枝村 学	近藤 好正	村田 健史 久保木 孝(九州)
H 元	石谷 善博(関東)	柴田 豊, 望月 正人	鳴海 一雅, 栗栖 正充		平田 直人
H 2	水山 元	畑 善裕, 三輪 雅彦	内山 雅史		
H 3	若林 英信		高嶺 研一, 能勢 幸嗣	佐藤 利勝	
H 4	岩前 敦	福谷 和久 西田 大	林 秀樹	久保 崇	佐分利誠司(九州) 堀内 匡
H 5	岩井 裕	雪本 徹 廣門 泰樹			
H 6	田中 和人	安威 俊重		阿部健一郎	
H 7	小森 雅晴	梅野 宜崇	井尾 賢司, 古賀 響	泉 祐志 佐々木伸也	大西 徹史
H 8	泉井 一浩	塩瀬 隆之 平澤 拓	笹田 義幸		
H 9	佐野 智一	平山 朋子		杉原 了一	
H 1 0	鶴飼 宗紀			山内 崇史	古株 慎一(海外)
H 1 1	佐藤 絃一				

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員のご協力をいただきながら各卒業年度同窓会との連携を密にしていきたいと考えております。



## 第二世紀事業「リカレント教育」の報告とお知らせ

### 第2回リカレント教育講座の報告

日 時：平成13年5月26日（土）13:00～16:00

場 所：産業技術記念館（JR名古屋駅近く）

1. 「モノづくりの現場での人間知とIT  
熟練技能の伝承とナレッジマネジメント」

13:00～16:00

京都大学大学院工学研究科精密工学専攻

助教授 榎木哲夫（S56卒）

参加者 32名

- 2-I. 熱流体計測の基礎Ⅰ 13:00～14:30

「どのような物理に基づいてどのような量を測るか」

京都大学大学院工学研究科機械工学専攻

教授 吉田英生（S53卒）

- 2-II. 熱流体計測の基礎Ⅱ 14:30～16:00

「基礎的な物理量をどのように正確に測るか」

京都大学大学院工学研究科機械工学専攻

助教授 中部主敬（S56卒）

参加者 14名（ⅠとⅡのシリーズ講演を併せて）

### 第3回リカレント教育講座開催のお知らせ

日 時：平成13年11月9日（金）13:00～15:00

場 所：キャンパスプラザ京都（京都駅前）

・「振動工学の最近の動向とトピックス」

京都大学大学院工学研究科精密工学専攻

教授 松久 寛（S45卒）

### 第4回リカレント教育講座開催のお知らせ

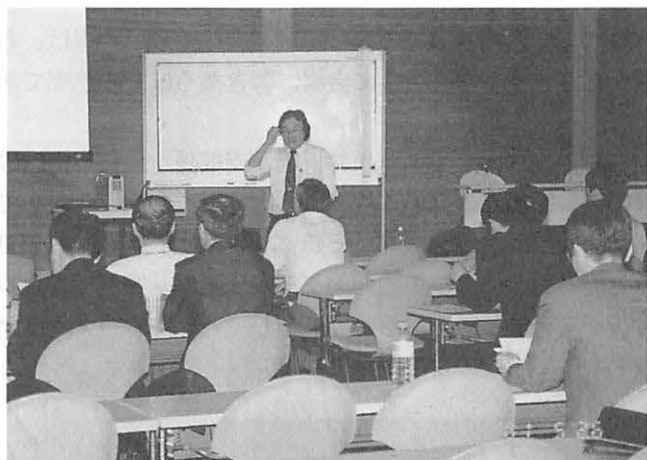
関東支部総会に合わせて下記のとおり開催いたします。

日 時：平成14年1月26日（土）13:30～15:50

場 所：三菱重工横浜ビル（ランドマークタワーの隣）

1. 設計：松原 厚（S60卒・精密工学専攻助教授）  
「機械設計者のための制御理論とその応用」
2. 材料：北條正樹（S54卒・M2材料研究センター助教授）  
「複合材料の特性と構造材料への応用例の紹介  
—力学特性を中心として—」
3. 熱流体：吉田英生（S53東工大卒、機械工学専攻教授）  
「せん断乱流の数値予測—乱流モデルの考え方—」

◎各講座の参加申込み・お問い合わせは京機会事務局迄。



第2回リカレント教育講座の風景



中部支部設立総会懇親会の風景

### 中部支部設立総会の報告

去る5月26日（土）、京機会中部支部の発足総会及び懇親会がJR名古屋駅近くの産業技術記念館にて約100名の会員が参加するなか盛大に開催されました。

当日は午後1時から京大機械系の先生方によるリカレント教育が実施され約50名の会員が受講。また産業技術記念館の見学も行われました。

夕方5時より総会を開催。支部規約、支部役員が満場一致で承認された後、松本支部長より中部支部をしっかりと盛り上げていきたい旨のあいさつがありました。

その後、永井京機会会長のご祝辞や井手先生による記念講

演など約1時間にわたり続けました。

引き続き懇親会が開催され、先輩、後輩、同期の全ての交流が和気あいあいと2時間にわたり続けました。親睦会の中ほどでは「京大機械系の過去、現在の写真」がスクリーンに写り出され、皆懐かしい思いで見入っていました。

最後に琵琶湖周航の歌を合唱。皆学生時代にもどり肩を組んで声高らかに熱唱し宴を終えました。

尚、次回からはカジュアルスタイルで参加できる総会、懇親会にし、よりたくさんの会員の皆様にご参加頂くよう進めていきます。

## 中国・四国支部設立総会の報告

平成13年6月16日(土) 広島市のホテルグランピア広島において、64名の会員の参加のもと、京機会中国・四国支部設立総会が開催された。

### 総会

総会の初めに、濱野清士氏(中国ジェールバス(株)、S40卒)から、設立の趣旨および経緯の説明が行われ、規約・細則の説明と承認、ならびに、役員を紹介と承認がなされた。初代役員として、支部長:川口東白氏、副支部長:琵琶忠志氏、阿部武治氏、石川浩氏、松久寛氏他が選任された。

次に、支部長:川口東白氏(宇部興産(株)、S34卒)からの挨拶があり、「種々の事業活動・研究活動における人脈作りとして、京大の機械系を出たということだけですぐに親密になれ、後々の活動で互いにメリットのある交流が保てたという経験を数多くしてきた。このことが自分の企業人としての活動にどれほど有用であったかは計り知れない。自分の人生をより充実したものとしていくという意味においても、この人的ネットワークを大切にしていきたいし、支部としても精一杯盛り上げていきたい。」との訓辞がなされた。

さらに、京機会会長:永井将氏(日立造船(株)顧問、S31卒)より祝辞として、「関西・関東・中部支部とともに、中国四国支部が設立されたことは非常に喜ばしく、また、この大切な時期に会長を任されていることを光栄に思う。今後、本部および4支部で連携を取りながら、京機会が今まで以上に盛り上がるように努力していきたい。」と述べられた。

続いて、関西・関東・中部支部を代表して、福森康文氏(大阪ガス(株)社友、S32卒)、藤川卓爾氏(三菱重工業(株)、S42卒)、伊勢清貴氏(トヨタ自動車(株)、S53卒)より祝辞が披露され、「今後各支部の活動を活発に行っていくとともに互いに協力しながら京機会全体が発展していけるよう御協力をお願いしたい。」という旨の要請があった。

引き続き、松久寛氏(京都大学、S45卒)より「京大機械系教室および京機会の報告」がなされた。工学部における組織変更の一環として、機械・精密・物理の3学科+原子核+航空をまとめて物理系学科として一括入試を行うようになり教養課程終了後に専攻を決めること、教官は大学院工学研究科の所属となったことが説明された。また、学科の校舎として8階建てビルが建造されたのに伴って、京機会事務局のフロアが新たに設けられたことが写真を交えて紹介された。

次に、駒井謙治郎氏(京都大学、S38卒)より「第二世紀記念事業報告」がなされた。新旧数々の写真を用いて機械系学科の歴史をひも解き、懐旧の情を誘うとともに同学科が進んで行くべき方向の指南があり、特に昨今の講義風景に関連して、「今後学生たちを引き付け、研究の動機付けとなるような講義をいかに行っていくかが最大の課題である。」と述べられた。

総会の最後に、3者の記念講演が行われた。阿部武治氏(岡山大学、S37卒)による「岡山大学地域共同研究センターの現況」、鷲尾誠一氏(岡山大学、S40卒)による「岡山大学工学部の教育改革」では岡山大学における組織構成および昨今の教育組織改革の状況が紹介された。自動車や化学などの地場産業の発展のため、産・学連携で活発な活動を続けていること、また、最近では技術の特許化に注力し、客員教授に弁理士を招くなど従来にない幅広い取り組みがなされていることが説明された。さらには、小島達雄氏(日本鋼管(株)、S43卒)による「製鉄業界の現状」では、国際的な枠組みでの製鉄メーカーの再編の様子がデータを用いて説明された。日本の1/5という安価な労務費を原動力に発展している韓国・中国の製鉄メーカーに対抗するために、国内では大手の合併が進められているが、研究開発部門への人材および研究費の投資は削減することなく、むしろ、これを効率的に運用することを機軸に生き残りを図る考えが紹介された。

### 懇親会

阿部武治氏(岡山大学、S37卒)の開会挨拶に引き続き、河田耕一氏(高知工科大学、S37卒)の発声のもと乾杯が行われた。

続いて、出席者全員での「琵琶湖周航の歌」合唱は、各人肩を組み合せて声高らかに会場に響き渡るほどの熱唱であった。

さらに、京機会会長:永井将氏、支部長:川口東白氏の挨拶の後、懇親会の締めくくりに、次期幹事会社を代表して薦田哲男氏(三井造船(株)、S45卒)より閉会の挨拶があり、「今回の総会により中国四国支部の活動の基盤ができたので、今後一層発展していけるよう邁進していきたい。」という決意表明の中で集いの幕を閉じた。



中国・四国支部設立総会懇親会の風景



## 関西支部の報告とお知らせ

平成13年4月14日の本部総会に引き続き支部総会を、また7月14日には役員会を開催し、平成12年度の活動報告、会計報告、役員改選及び平成13年度の活動計画を審議、決定いたしました。紙面の都合上、平成13年度活動計画の概要、役員、予算概要についてご報告いたします。

### 平成13年度活動計画

#### ◎活動方針

支部設立初年度に発足した「異業種交流会」、「産学交流会」、「新年会」の活動を活性化するとともに、幅広く活動を行う。

#### 個別活動計画

##### ■異業種交流会の開催

年4回程度の開催を企画する。6月にJR西日本、9月に住友金属工業(株)、12月に三菱電機(株)、2月に(株)コマツで開催を予定。

##### ■産学交流会の開催

「設計・製造・材料・機素・振動懇話会(3交会)」と「熱流体工学懇話会」の2つの懇話会を年3回程度開催する。開催場所は12年度までの京都大学のみならず、大阪地区での開催も企画する。

##### ■新年会の開催

新年会を平成14年1月18日(金)18:30から「ホテルグランビア大阪名庭の間」において開催する。別途ご案内の通知は往復葉書で発送する予定にしております。当番会社は松下電器産業(株)。

##### ■その他

有志懇親会として開催されている京機九日会、京機・京都の会などについて関西支部の活動として支援、参加することとする。また、平成13年2月に設立された関東支部との交流を目的として、関東支部会員の講演会などを企画する。

### 関西支部「異業種交流会」・「産学交流会」の参加会員(第2期登録会員)の募集

関西支部は、平成11年度後半から「情報・知識に関する交流と、人的ネットワークの拡大を図る」ため、「異業種交流会」「産学交流会」を支部活動の大きな柱の一つとして実施して参りました。1年半の実績は、異業種交流会6回、産学交流会5回を開催(合計延べ参加者約500名)し、目標の成果を上げてきております。

人的交流を重要な目的の一つとしておりますので、一定期間継続的に参加していただく「登録会員」制度で引き続き運営していきたいと考えております(第2期登録会員はH13年度下期から2年)。勿論テーマ毎に参加される随時参加も歓迎します。京機会ニュースNo.5~8に掲載されている交流会の実績をご参照頂いて当交流会の趣旨ならびに運営方法の考え方に格別のご理解を頂き、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、第1期登録会員につきましては基

本的に自動継続をお願いすることとし、幹事会社、協力会社から推薦を受けるほか、院・学生会員、関西支部以外の京機会会員の方々の参加も歓迎します。

#### 異業種交流会

- ・ 主要会員企業の関西地区の事業所(持ち回り)において平日午後開催する。
- ・ 事業所(工場、研究設備等)の見学、技術開発事例の発表、製品の紹介ならびに討論を通じて技術動向、事業活動等の動向を知ると共に交流を図る。
- ・ さらに交流を深めるため懇親会を開催する。
- ・ 参加者は予め登録した会員(開催案内をE-mail等で通知する)と、随時参加(京機会ホームページに掲載案内を掲載。京機会ニュースにも可能な限り掲載)とする。
- ・ 会費は無料とする。ただし、交通費、懇親会費(3,000円)はご負担いただく。
- ・ 平成13年度は4回の開催を予定しています。7月にJR西日本、9月に住友金属工業(株)で開催いたしました。次回は12月に三菱電機(株)、2月に(株)コマツで開催を予定しております。

#### 産学交流会

- ・ 大学の有志の先生方を囲み、先生方からの先端工学・技術、トピックス等の紹介や基礎講義、企業側から技術開発、技術動向等に関して事例発表をする懇話会として開催する。
- ・ H13年度は「熱流体」「設計・製造・材料・機械要素・振動(3交会)」の2分野に分けて開催する。
- ・ 会合は主に土曜日(午後)大学で、2~3件の講演(話題提供)と討論を行う。
- ・ さらに交流を深めるため2分野合同の懇親会を開催する。
- ・ 参加者は予め登録した会員(開催案内をE-mail等で通知する)と、随時参加(京機会ホームページに掲載案内を掲載。京機会ニュースにも可能な限り掲載)とする。
- ・ 会費は無料。但し、交通費、合同懇親会費(1,000円程度)はご負担いただく。
- ・ 平成13年度は3回程度の開催を予定しています。7月14日(土)に京都大学機械系教室で開催し、次回は10月13日(土)午後京都大学機械系教室において開催する予定です。

#### 平成13年度関西支部役員

支部長	福森康文氏 (S32卒、大阪ガス社友)
副支部長	坂戸瑞根氏 (S32卒、神鋼テクノ顧問役)
	野田忠吉氏 (S33卒、住友精密工業特別顧問)
	濱野清士氏 (S40卒、中国ジェイアールバス社長)
	浦田嘉人氏 (S43卒、松下電器産業)
	牧野俊郎氏 (S47卒、機械物理工学専攻教授)
監事	西田 弘氏 (S28卒、西田エー・イー研究所社長)
事務局長	坂口保彦氏 (S54卒、西日本旅客鉄道)
事務次長	本地真一郎 (S45卒、松下電器産業)

収入		支出		
項目		項目	予算額	予算内訳
本部からの交付金	654,000	異業種交流会運営費	140,000	
前年度からの繰越金	1,173,761	(湯茶費)		80,000
新年会参加費	1,130,000	(雑費)		60,000
新年会案内広告掲載料	50,000	産学交流会運営費	121,000	
		(運営給付金)		120,000
		(運営雑費)		1,000
		総会運営会議役員会費	120,000	
		新年会費	1,350,000	
		その他経費	106,761	
		予備費	1,170,000	
計	3,007,761	計	3,007,761	

### 関西支部産学交流会報告

#### 熱流体懇話会

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

第5回：参加者 18名

日時：平成13年4月14日(土) 10:30～14:30

1) 石山拓二氏 (S53卒、京都大学エネルギー科学研究科)

「燃料噴霧・噴流の着火と燃焼」

2) 稲田満氏 (S52卒、三菱重工業(株)高砂研究所)

「ガスタービンにおける燃焼と伝熱」

第6回：参加者 19名

日時：平成13年7月14日(土) 13:30～18:30

1) 多久島朗氏 (S53卒、シャープ(株))

「エアサイクル乾燥システムの凝縮性能」

2) 牧野俊郎氏 (S47卒、京都大学機械物理工学専攻)

「水飲み鳥とヒートパイプ -熱力学の可視化-」

設計・製造・材料・機素・振動懇話会 (京機3交会)

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

第6回：参加者 43名

日時：平成13年4月14日(土)

1) 矢部寛氏 (S35卒、大阪電気通信大学)

「漫談、気体潤滑技術の源流から現在まで」

2) 幡中宣夫氏 (H4卒、大阪ガス(株))

「LNG船の建造について」

第7回：参加者 23名

日時：平成13年7月14日(土)

1) 小島敬良氏 (S52卒、(株)クボタ)

「予見制御法によるコンベア追従制御の実現」

2) 中井幹夫氏 (S37卒、京都大学精密工学専攻)

「カオスの話」

次回開催日は右記のとおり。

◎懇話会への参加申込み・お問い合わせは京機会事務局迄。

### 関西支部産学交流会開催のお知らせ

#### 第7回熱流体懇話会

日時：平成13年10月13日(土) 13:30～16:30

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

1) 13:30～14:30 康倫明氏 (S48卒、ダイキン工業(株))

「クライオエレクトロニクス of 冷却とパルス管冷凍機」

2) 14:45～16:30 川口靖夫氏 (S53卒、産業技術総合研究所)

「独立行政法人、産業技術総合研究所の紹介」

#### 第8回設計・製造・材料・機素・振動懇話会 (京機3交会)

ビールでも飲みながら、以下の講演を着に情報交換をいたしましょう。

日時：平成13年10月13日(土) 13:30～16:30

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

1) 原 宣宏氏 (S58卒、生産技術研究所加工技術研究室)

「HDD用ディスクの加工」

2) 武田宗久氏 (S54卒、三菱電機株式会社)

先端技術総合研究所グループマネージャー)

「マイクロマシン研究の現状と動向」

講演会終了後は、熱流体懇話会と設計・製造・材料・機素・振動懇話会 (京機3交会) の合同懇親会を開催いたします。

### 関西支部総会・新年会のお知らせ

日時：平成14年1月18日(金) 18:30より

場所：ホテルグランビア大阪 名庭の間

関西支部会員には別途ご案内通知を発送いたします。また、詳細は後日、京機会HPに掲載いたします。

関西支部以外の方のご参加も歓迎いたします。支部会員以外で参加希望される方は京機会事務局迄ご連絡下さい。事務局より詳細をご連絡させていただきます。



## 関東支部総会・新年会のお知らせ

日時：平成14年1月26日（土）16：00～20：00

場所：三菱重工横浜ビル（ランドマークタワーの隣）

総会では挨拶、報告に続いて、下記の二つの講演を予定しております。

1. 「36年間の大学生活における節々」 大谷隆一先生  
(S37卒、京都大学機械物理工学専攻教授、H14年春定年退官)
2. 「私の技術屋廃業の弁」 小澤三敏支部長  
(S33卒、住友重機械工業（株）会長)

新年会会費：10,000円（平成4年以降卒業者は8,000円）

同時開催：リカレント教育講演会（7ページ参照）

関東支部会員には後日、案内を差し上げます。また、詳細は後日、京機会HPに掲載いたします。

関東支部以外の方のご参加も歓迎いたします。支部会員以外で参加希望される方は京機会事務局迄ご連絡下さい。事務局より詳細をご連絡させていただきます。

## 支部・地区京機会の設立を！（九州、北陸、信越、東北、北海道地方の会員の皆さんへ）

関西支部、関東支部に続いて、5/26に中部支部、6/16に中国・四国支部の設立総会が盛大に開催されました。しかし、九州、北陸、信越、東北、北海道などは現在のところ、それらに含まれていません。これら地区は会員数が少なく（九州でも約150名、会費納入者約50名）支部の構成には問題があります。そこで、ご希望の方は近隣の支部の会員とすることもできますし、また、長野など交通事情から考えると県ごと、関東支部に入れてもいいという考えもあります。さらに、道・県または市単位で懇親会的な地区京機会を持つことも可能で

す。例えば「福岡京機会」または「京機・福岡の会」を作り、地域に密着した親密な人的ネットワークを形成することなどです。もちろん、九州支部設立のご希望があれば協議させていただきます。

本部としては参加会員のうち会費納入者1名当り年750円（自主的に運営される場合）の交付金を支給すると共に、地区会員名簿の作成など地区京機会の設立に協力いたしますので応募してください。また、近隣の支部に参加を希望される方はご連絡願います。その他ご意見を事務局までお寄せ下さい。

## 教官の異動

### 退官

- 矢部 寛 教授：本年3月31日停年退官  
宇津呂雄彦教授：本年3月31日停年退官  
手島 清美講師：本年3月31日停年退官  
岡阪 令 助手：本年3月31日停年退官

### 異動

- 本田 善久講師：本年4月1日 近畿大学助教授に就任  
井原 之敏助手：本年4月1日 大阪工業大学助教授に就任  
加藤 博之助手：本年5月1日 北海道大学助教授に就任

### 就任

井手 亜里教授：昭和52年京都大学工学部電子工学専攻卒業、昭和54年修士課程、58年博士課程を修了。その後、プラズマ応用、粒子ビームの医学利用等の研究に従事。平成3年京都大学工学研究科精密工学助教授。粒子ビームを用いた加工分析の研究に従事。脳機能研究にイオ



ンビームや放射光を用いた細胞レベルでの超微量元素の測定、イメージング、定量化研究を行っている。平成13年4月から、京都大学国際融合創造センター創立に伴って、同センター創造部門・バイオ電子システム分野に異動したと同時に、工学研究科・バイオマイクロシステム工学（協力講座）にて、従来とおろ精密工学専攻の学生の教育・研究指導に従事。趣味はマラソン、チェス、囲碁。

茨木 創一助手：平成6年京都大学精密工学科卒業、同8年京大大学院修士課程精密工学専攻修了、同年米国カリフォルニア大学バークレイ校大学院機械工学科に入学。同12年12月Ph.D.を取得し、同13年4月1日、本学助手。



大学院工学研究科精密工学専攻精密計測加工論講座に所属し、主に工作機械の送り駆動系のモーション・コントロール問題、機械加工のプロセス制御、工作機械の精度検定と補正法、数値最適化手法の制御問題への応用などを専門に研究している。



## 会員のページ

### 1. 京機・京都の会の報告（於：都ホテル 菊の間）

#### ○第11回例会

日時：平成13年7月7日（土）12:00～14:30

参加者：奥島啓式先生（S12卒）他19名

話題：1. 3分間スピーチ（初めての出席者）

2. 話題提供（40分）と全員懇談（40分）

話題提供者 西岡邦夫氏（S23卒）

「ろくろと車（洋食器の世界と新幹線の車軸）」

#### ○第12回例会

日時：平成13年9月1日（土）12:00～14:30

参加者：諏訪兵治氏（S16卒）他14名

話題：1. 3分間スピーチ（初めての出席者）

2. 話題提供（40分）と全員懇談（40分）

話題提供者 杉原彦一先生（S18卒）「古本屋めぐり」

### 2. 京機九日会報告（於：中央電気倶楽部）とお知らせ

#### ○H13年2月例会

日時：平成13年2月9日（金）11:00～14:00

出席者：22名

話題提供の題目：マラソンとイタリア語

提供者：橋本 昌氏（S31卒）

#### ○H13年4月例会

出席者 S10年卒の伊藤龍太郎氏を筆頭に17名出席

話題提供講演者 S32卒 川田和良氏（元日本航空）

テーマ 「空港造りへの反省」

内容 関西空港Ⅱ期工事本格化の時期であるので、成田空港から関西空港の建設の中心的な役割を担われた川田さんに関東在住にも関わらず講演をお願いした。関西空港にはハブ空港としての機能が期待されており、また神戸空港が着工され、琵琶湖空港も建設が計画されているが、諸外国の実例も挙げながらこれらに対する専門家としての忌憚のない見解が披露された。

また、静岡上空の航空機ニアミス事故の直後であったので1961年以降の日本航空機の各種事故の数例について内容と事故に至る経過、原因の説明があった。

時宜を得た題材だけに講演後出席者から活発な質疑があり、意見交換がなされて、遠方からの講演をお願いした甲斐のある例会であった。 坂戸 瑞根（S32卒）

#### ○H13年6月例会報告

恒例の京機九日会が、6月9日11:00～14:00 大阪の中央電気倶楽部で開催された。前々回からの流れで、今回は昭和33年卒が幹事を務め、次回（8月9日）幹事予定の昭和34年卒の方々が大学12名出席され合計32名と大盛会であった。

S33卒の池上名誉教授から「自動車と環境保全」と題してお講話を戴いた。内容は自動車環境対策の動向、環境保全の考え方とあり方、代替燃料の話、地球温暖化抑制への施策等であったが、時宜を得た有益なお話で、活発な質疑が続いた。大学からは垣野先生のご出席を戴き、最近の大学における大

きな課題、トピックス、今後の有り方について踏み込んだお話を頂き、これまた大変有意義であった。

野田 忠吉（S33卒）



#### ○H13年8月例会

日時：平成13年8月9日（火） 11:00～14:10

出席者：24名

話題提供講演者：柴田俊忍名誉教授（S34卒）

テーマ：「鉄道関係事故・災害・ニュースから学ぶ」

内容：過去十余年にわたる鉄道関係事故報道を中心に、諸文献・統計を交えて、鉄道事故を安全工学の視点から捉えてのお話で、近年喧伝される危機管理にも通じるものがあり非常に興味深いものであった。大学からは井上教授の御出席を頂き、他大学をも含めた外国人留学生受け入れ事情をも交えて、最近の学内事情についてお話をいただいた。

木谷 彰宏（S34卒）

#### ○H13年10月例会

10月例会を下記の通り実施の予定です。

日時：平成13年10月9日（火） 11:00～14:00

場所：中央電気倶楽部

講演：三島宏夫氏（S35卒）

幹事役：松木健次氏（S35卒）

### 3. 五十年会（S25卒）2001年春期例会報告

幹事：畠正雄、森川龍一

I. 日時：平成13年5月8日（火）11:00～14:00

II. 場所：『（社）中央電気倶楽部』（大阪市北区堂島）

III. 出席者：小沢和雄、木本正丈、合田英之、清水光明、下間頼一、田中裕、谷 晃、長尾剛一、野木圭三、畠正雄、福井紀生、松浦清一、森川龍一、大和久士、山中正敏

以上15名。

#### IV. 会の進行：

1) 報告事項：先の秋期例会以来、幸い今日に至るまで同窓諸兄は皆さん御無事であった等、簡単な報告。京機会本部のホームページの紹介。

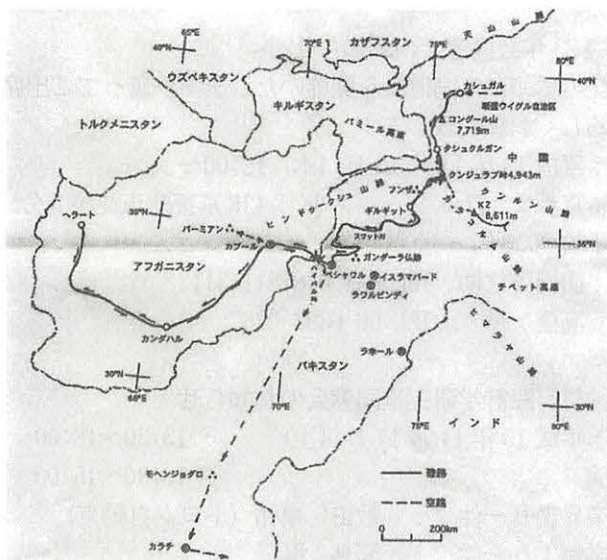
2) 下間君の卓話『カラコルム紀行』

我々が到底訪問出来ない広大な中央アジア僻地の遺跡踏破大紀行。大量の貴重なスライドによる卓話は大変な圧巻で、拝聴した一同が自ら現地に赴いた様な興奮に包まれた。



改めて下間君から「カラコルム紀行ルートマップ」を作成して貰ったので、下記の行程説明と併せて再度幻想の旅に入って頂きたい。

概要：中国西北の新疆ウイグル自治区に横たわる世界第2のタクラマカン砂漠。その西北端のオアシス、カシュガルより出発し南西へ。7719mのコングール峰やカラクリ湖を左手に、更に白雪の7546mのムスタグアタ峰を仰ぎタシュクルガンで高度調整。西へ向かい中パキ国境の4943mのクンジュラフ峠を越える。カラコルム山中の秘境フンザの里へ降りる。秀峰ラカボシを仰ぐフンザはシャングリラ（理想郷）として知られる秘境。中央アジアの屋根カラコルムは世界第2の高峰K2をはじめ8000mの峰4座、7000m級の峰60座以上もある白い巨峰の世界。北の中央アジア高原と南のパンジャブ平原を結ぶルートは、シルクロードの1つとして仏教伝来の道、紀元前のアレキサンダー遠征の道として、様々な人種や文明の足跡が刻まれた舞台です。フンザからインダス河に沿って下り、スワット渓谷、ガンダーラ地方、ベシヤルからハイバル峠を越えてアフガニスタンへ。最近破壊されたパーミヤンの大仏を仰ぎヘラートへ。再びパキスタンへ南下してインダス文明の遺跡モヘンジョダロを訪れる壮大な旅行。その行程にある数々の遺跡や住民の生活、宗教などの解説を、時には危険な隠し撮り写真を交えた素晴らしいスライドにより行われた。



3) 食事と閑談：夫々の出席者の間で会話の花が咲いた。

4) 次期幹事挨拶と記念写真撮影：

梶、森川は今回をもって2年の幹事任期を終了。次期幹事は野木、長尾両君に決定。

野木君から次期幹事として諸兄の協力を期待する挨拶があり、出席諸兄と協議の結果、次回の秋期例会は本年10月29日(月)頃にするが、京機会本部総会のスケジュールを勘案して決める事になった。最後に全員の記念写真を撮影し解散。

(文責：森川龍一)



#### 4. 昭和24卒同窓会の報告

日時：平成13年6月9日(土) 12:00~15:30

会場：京都センチュリーホテル 嵐亭

私共は大学で研究を続けた現名誉教授の岡村氏と元東洋紡副社長の中原氏が中心となって2年に1回会合をもってあります。一昨年もその前回は近江八景の一つ浮身堂の北隣りの魚清楼で開催し、鴨料理と寒諸子に舌鼓を打って来ました。時期が少し寒いので風邪で当日の欠席が出たりしたので、今年は21世紀の初年、原点にもどって気候もよく、交通も便利で日帰りでき、皆が集まりやすい所を思いJR京都駅に近い、京都センチュリーホテルで開催した次第です。出席者15名、東京から徳永君が参加してくれ嬉しいことです。

いまだ現役の人、職場をリタイアして地域社会に活躍する人、旅行や囲碁を楽しみにしている人、体調不良で療養中とか、医者と相談中とか、お互いの健康管理談義から若き頃の思い出話も出て尊い体験談に時の過ぎるのも忘れる程、夫々によりアドバイスと浩然の気を養いあって午後3時半閉会した。

次会は倉敷地区で開催を決め、元気に再会を約して名残を惜しみつつ解散した。

坂口 記



笠田 杉田 岩本 福田 斎藤 中原 村田 岡村 玉井 落合  
小松 近藤 中村 徳永 坂口

#### 5. 昭和36年卒同窓会報告

平成13年5月19日(土)、卒業以来40年ぶりに京都では初めての同窓会を平安神宮の近くの京料理「六盛」で催し、21名が出席して愉快的ひとときを過ごしました。

従来、昭和36年卒・東京地区同窓会を「銀友会」と名付け11月第2金曜日に集まっておりますが、全国についても「銀友会」の名で毎年5月第3土曜日に集まろうということになりました。





## 6. 昭和54年京大機械系卒同窓会(01.7.21)報告

参加者：25名 伊藤和則、永並隆、尾崎永一、小林昌彦、坂口保彦、鹿野裕、武浩司、武田宗久、辻交堂、富田栄二、中嶋勝己、仲田摩智、西橋良二、浜下浩一、東出法彦、深川仁、北條正樹、真鍋雅信、箕島弘二、村田裕幸、森口真介、山下道雄、横田泰直、吉田篤正、渡辺真悟  
第1部幹事：北條、箕島、第2部以降幹事：坂口

卒業後初めての開催であり、各自多忙の中、関東から中国地方まで25名が灼熱の京都に集った。第一部は大きく様変わりしつつある現在の大学の状況の説明と新しくできあがった物理系校舎の見学を行った。

第2部は会場を京都駅ビル内ホテルグランビアに移し、懇親会として開催した。盛会の様子は写真をご覧ください。20年ぶりに会して最初は顔と名前が結びつかない部分もあったが会が進むにつれて学生時代の懐かしい思い出が再現された。各自のショートスピーチでは、変革期を迎える日本において、企業、大学等において第一線で活躍する各位の活躍と苦労が披露され、日本社会の縮図といった感があった。

半数以上がそのまま同じホテルグランビアのラウンジでの2次会に参加し19時ころ散会した。今回参加されなかった諸氏も、次回には是非元気な顔を見せていただきたい。なお、写真中の妙齢の女性は受付等のお手伝いをいただいた幹事の1名の北條の研究室修士2回生松岡さんです。坂口君が調子に乗って乾杯の発声や万歳三唱までお願いしてしまいました。

20年と長い間があいてしまいましたが、今後は数年に1回は開催させていただきたいと思っております。また、京機会の各支部の大会に併せて、京都以外でも開催は可能です。ご意見をお気軽にお寄せください。

連絡先：京機回事務局(Tel. 075-753-5183)

e-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

「S54年同窓会幹事宛」とメモ下さい。とりあえず北條、箕島が対応させていただきます。懇親会のスナップ写真は  
<http://mech-Server.mech.kyoto-u.ac.jp/lab/ochiai/S54doSokai/picture.html>



## 7. 第13回機河会報告

今年の機河会総会が8月25日(土)京大会館で行われた。本年も河本先生ご夫妻がお元気な姿で参加された。参加人数は先生ご夫婦とも全部で19名であったが、九州、四国、東海など遠方からの参加者もあった。

冒頭に河本先生より中国や韓国に関する含蓄のあるお話を

いただいた。その後、参加者がそれぞれ3~4分近況報告したり、またお互いに歓談して楽しいひとときを過ごした。中には終身雇用には飽きたらず、資格を取って転進を図っている人や、海外で活躍している人など多くの興味ある話があった。最後に、来年の再会を期して散会した。

戸谷靖隆 (S42卒) 記



## 8. 京機23年会同窓会のお知らせ

下記の要領にて同窓会を開催いたします。奮ってご出席の程よろしくお願い致します。

日時：平成13年11月15日(木) 12:00~

場所：京都センチュリーホテル (JR京都駅東徒歩3分)

会費：約9000円

幹事：山田啓之助、高橋 徹

## 9. 機械材料設計学研究室同窓会のお知らせ

日時：平成13年11月17日(土) 13:30~18:00

1. 講演 13:30~15:00

産業界より一件：敷田 卓祐(トヨタ自動車)

大学側より一件：箕島 弘二

於 京都大学工学部 物理系校舎214号室

2. 機械材料設計学研究室 実験室見学 15:00~15:30

3. 晩餐会 16:00~18:00

於 料理旅館【菊水】菊花新殿(南禅寺門前)

京都市左京区南禅寺福地町31、TEL 075-771-4101

会費 18,000円

連絡先：箕島弘二 TEL 075-753-5254 FAX 075-753-5785

E-mail: minoshima@mech.kyoto-u.ac.jp

遠藤研、駒井研OBで案内が届いていない方はご連絡ください

## 10. 伝熱工学研究室同窓会OB会(第4回サヴァヴァ会)のお知らせ

日時：平成13年10月13日(土) 17:30~20:00

会場：御殿荘(TEL 075-771-4151)

連絡先：大塚弘雅

研究室：TEL 075-753-5251-5218、FAX 075-753-5251

中部主敬 E-mail:nakabe@mech.kyoto-u.ac.jp

岩井 裕 E-mail:iwai@mech.kyoto-u.ac.jp